



地域防災センター 2019年版パンフレット

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/16242

Research Center for
***Regional Disaster
Damage Prevention***

RD²P

地域防災センター

災害支援ネットワークの構築



- ◎ 持続可能な社会のためのジェンダー・センシティブなネットワーク構築の研究
- ◎ 災害からの復興と生活再建



- ◎ 防災セミナーを通じた地域活動支援

自然災害への靱性を備えたコミュニティを目指して

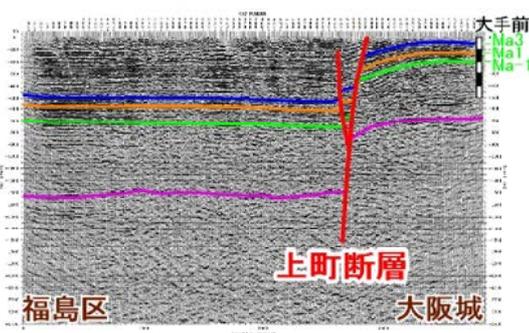
- ◎ 都市防災と緑地計画との関わり
- ◎ ため池・フィルダムの安全性評価



- ◎ 農業・農村システムの管理と多面的機能評価

リスク評価・データベース整備

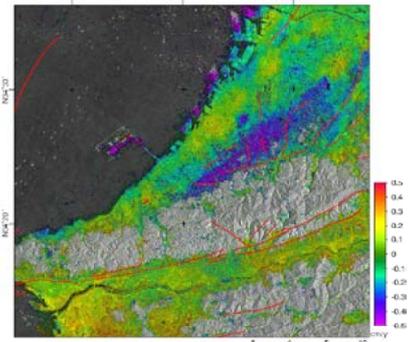
地質調査を通じて、活断層評価・火山災害予測を行います。



地震探査に基づく
上町断層の構造



火山噴出物の調査



人工衛星が捉えた
南大阪の地盤変形

情報公開と防災に資する教育

大阪府立大学の学術情報
リポジトリ (OPERA) を
活用して、防災に役立つ
情報の公開を進めます。

例① 活断層の
地下構造



例② 避難所の
開設マニュアル



地域再生副専攻との連携 (中
央構造線活断層系の巡検風景)

地域防災への三位一体の取り組み

コミュニティに応じた 減災・復興の提言

- ◎ 災害にresilientな妊産婦
支援ネットワークの構築に
関する研究
- ◎ 復興・防災まちづくりと
ジェンダーに関する研究

地域を取巻く環境と 災害への靱性評価

- ◎ 都市防災と緑地計画との
関わりについての研究
- ◎ 農業施設のもつ多面的機
能 (ため池による洪水緩和
など) に関する研究

地域の地盤特性と自然災害リスクの評価

- ◎ 活断層研究・地質調査・火山災害予測
- ◎ 地盤情報データベースの整備と情報公開

研究員 (2019年1月現在)

センター長 伊藤 康人 (理学系研究科 教授)

生命環境科学研究科

教授 堀野 治彦
教授 加我 宏之
准教授 木全 卓
教授 三浦 大助
教授 田間 泰子
客員研究員 山地 久美子
客員研究員 前川 寛和
客員研究員 河合 展夫*

理学系研究科

人間社会システム科学研究科

研究推進機構

* (株)地球科学総合研究所 代表取締役社長

協力連携機関

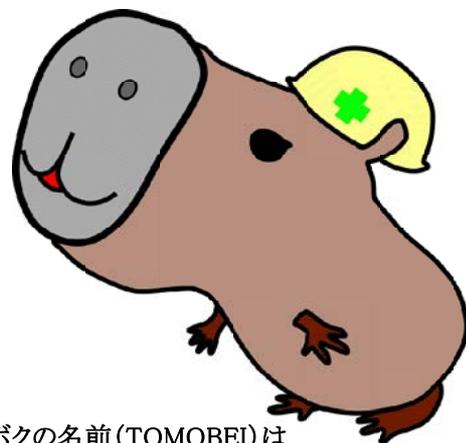
株式会社 地球科学総合研究所



地域とともに この日常を守る

カピバラは大きいけど、
南米に住むネズミの親戚です。
おっとりしたボクたちは危険を
感じたら鳴き声をあげて仲間に
知らせる。こわい敵から逃げる
ときには大人が子供を取り
囲んで守るんだよ。

防災リーダー：カピバラのトモ平



☆ ボクの名前(TOMOBEI)は
“TOMorrow, BE Informed!”に
ちなんでつけてもらいました。

詳しくはホームページへ

<http://www.rd2p.21c.osakafu-u.ac.jp>

大阪府大 RD2P



お問合せ：大阪府立大学大学院理学系研究科 伊藤 康人 / E-mail: itoh@p.s.osakafu-u.ac.jp

交通アクセス：地下鉄御堂筋線「なかもず駅」5番出口から徒歩約20分、南海高野線「白鷺駅」から徒歩約20分、南海本線「堺駅」およびJR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」より、南海バス(「北野田駅前」行31、32、32-1系統)にて「府立大学前」下車すぐ。